

策 定 目 的

- 業務のDXに必要なスキルを習得した「DX人材」を、職員研修等により組織的・体系的に育成
- DX人材の活躍により、デジタルの活用を前提に施策・事業を構築し、遂行できる組織への変革を進め、もって「誰一人取り残さない、人に優しい」デジタル社会の形成を目指す。

対象職員

市長部局等の常勤職員

実施期間

令和7年度～令和11年度

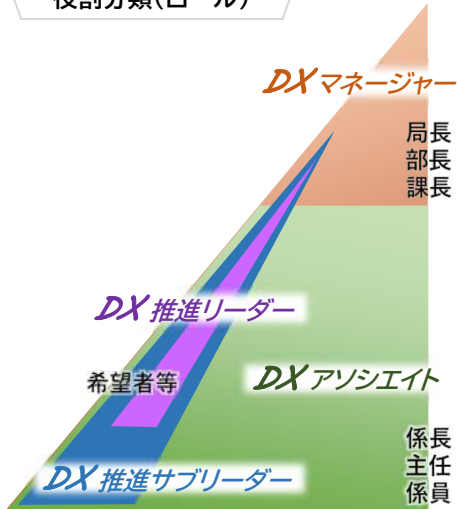
位置づけ

「新京都戦略」、「京都市人材育成・組織活性化計画」及び「京都市DX推進のための基本方針」に基づき、本市職員のDX人材育成を組織的・体系的に進めるための実行計画

目指す人材像

- デジタル技術(D)を活用し、率先して業務の変革(X)を推進できる人材として、その中心的役割を担う「DX推進リーダー」と、身近なDX推進等を担う「DX推進サブリーダー」を重点的に養成
- デジタルツール等を余すことなく利活用できるデジタルリテラシーを有し、実践可能な職員として、全管理職員を「DXマネージャー」に、全非管理職員を「DXアソシエイト」に育成

DX人材の役割分類(ロール)



DX推進リーダー

- ☆ 各年の養成講座修了者を認定
- ☆ R11末までに30人以上を育成

目指す人材像

DX推進の中心的役割を担う人材

- デジタルと業務変革のスキルを兼備
- 所属内でのDX推進の取組をリード
- 庁内横断的なDX推進も実践

アプローチ

DX推進に必要なスキルを体系的・重点的に研鑽する養成講座(研修)を実施し、毎年、少数精鋭で育成

DX推進サブリーダー

- ☆ 各年の養成講座修了者を認定
- ☆ R11末までに250人以上を育成

目指す人材像

DX推進の基盤となる人材

- DX推進の意欲を有しDXスキルを習得
- 身近な業務のDX推進を率先
- 周囲の職員のDX推進のサポート役

アプローチ

デジタルスキル向上に意欲的な職員が必要なスキルを研鑽する養成講座(研修)を実施し、毎年育成可能な限り多くの職員の受講を促進

- ※ 全庁のDX推進の重要な役割を担う課長級職員は3年間で先行して育成
- ☆ R9末までに全対象職員への研修を完了

DXマネージャー

目指す人材像

DX推進に積極的な管理職員

- DX推進の意義と効果を十分に理解
- DX推進への高いマインドと使命感
- トライを推奨し&エラーに寛容

アプローチ

3年間、全課長級を対象に一律に研修を実施し、管理職として必要な共通のDXリテラシー、マネジメント、マインド等のスキルを習得

※ 局長級は、別途個別の研修を実施 ※ 昇任者等には、順次後追いで研修を実施

DX人材

目指す人材像

デジタルツールを円滑に活用できる職員

- 基礎的なデジタルリテラシーを習得
- デジタルツールを活用し円滑に業務遂行

アプローチ

5年間、日常的にPCを利用する職種等の係長級以下の常勤職員に一律に研修を実施し、基礎的なDXリテラシー、マインド、ツールの活用方法等のスキルを習得

※ 新規採用職員等には、順次後追いで研修を実施

スキルマップ

- 目指す人材像ごとの役割に応じて習得が必要なスキルを以下のスキルマップで明示し、体系的な研修等を実施

DXスキル	リーダー	サブリーダー	マネージャー	アソシエイト
DXマインド	◎	◎	◎	○
データリテラシー	◎	◎	◎	○
ITリテラシー	◎	○	※	○
DXマネジメント	○	—	◎	—
DXトレンド	◎	◎	※	○
ビジネスアーキテクトデザイン	◎	○	※	—
データサイエンス	◎	○	※	○
セキュリティ	○	○	※	※
エンジニアリング	○	○	—	—
業務効率化ツール	◎	◎	※	○
オンライン申請ツール	◎	◎	※	○
BIツール	◎	◎	※	○
オフィスツール	◎	◎	※	◎
チャットツール	◎	◎	※	◎

◎:十分に理解・習得 ○:概要等を理解・習得 ※:他の科目で同時に習得等

継続的な向上キャリア形成等

- 「率先してDXを推進することができる人材(DX推進リーダー・サブリーダー)」への認定者には、継続したDXスキル向上の取組や、スキルをいかしたキャリアを形成できる人事制度等も実施

継続的なスキル向上

- ◆ DX推進リーダー・サブリーダーには、認定後も毎年スキルを維持向上するための「継続研修」を実施
- ◆ DX推進リーダー・サブリーダーが、所属内のDX推進役・相談役として取り組み、実践的にスキルを向上

京都DXラボ+の創設

- ◆ DX推進リーダー・サブリーダーが、オンライン等で相互に情報共有や自己研鑽等を行うことができる交流・活動プラットフォーム「京都DXラボ+」を創設(現行の枠組み「京都DXラボ」から発展)
- ◆ DX推進リーダーは、「京都DXラボ+」を通じてデジタル化戦略推進室と連携し、他所属からの依頼等に基づく所属横断的なDXにも取り組むことで、さらなる実践スキルの向上に努める

DX推進リーダーのキャリア形成

- ◆ DX推進リーダーが、そのDXスキルやアイデアを最大限いかせ、やりがいを持って仕事に取り組めるよう、主体的なキャリア形成を支援する人事異動の仕組みを構築(予定)

ICT・デジタル枠採用の活躍促進

- ◆ ICT・デジタル枠で採用された職員が、その知識・スキルをより一層活かして最大限活躍していくため、当該職員にDX推進リーダー・サブリーダー養成講座の受講を勧奨

スキルマップや研修カリキュラムの詳細等については、DX人材育成プログラム～詳細版～参照